

# ～顔認証技術について～

## 要約

- 顔認証技術は**犯罪抑制や犯人逮捕に役立つ**といわれているが、**精度**に難がある。
- しかし、**コロナウイルス感染予防のための一つのKey**となる可能性も秘めている。

# 顔認証の課題

顔認証技術には精度の低さが原因で冤罪となるケースがある、また、顔情報の使用が犯罪防止以外に使われる可能性もある。

## 具体例

- ①、精度があいまいなことから、一部の都市では黒人に対する顔認証の精度が低い点から使用の禁止が行われた。
- ②、精度についてはフジテレビの「でんじろうのTHE実験」という番組の2019年9月8日に放送された回にて、巧妙に作られた3Dマスクが顔認証を突破したこともある。
- ③、スマホの顔認証も若干精度が甘いと思う。例えば、iphoneの写真に「ピープル」というものがあるが、明らかに友人の顔が映っているのにその顔が認識されないこともある。

⇒顔認証の実用化は**時期尚早**なのでは。

# コロナと顔認証、自分の考え

- コロナウイルスにより、多くに人々がマスクをつけるようになり、顔認証が行いにくくなるケースが増えてきた。
- しかし、顔認証の導入により、画面に触れる時間を少なくでき、感染予防になる効果が期待されている。

- 自分の考え

この技術はとられる側の市民のプライバシーの保護と、国や研究者がどこまで顔の情報を使っていいのかが焦点。

**国、セキュリティと精度に注意し、データの使い道を明確にするべきだ。**

**市民、積極的に顔認証技術を使っていくことで、より高度な顔認証技術を作れるのではないか。**

⇒現段階でセキュリティを怖がって行動しないと、いつまでも顔認証の精度は低いままの可能性もある。

しかし、データを取られる側のプライバシーも大切。この二つの両立が難しいのではないかと考える。